

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 海星学院高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒050-0072
北海道室蘭市高砂町3-7-7

E-mail kaisei@kaisei-gakuin.ed.jp

Website <http://kaisei-gakuin.ed.jp/>

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（国内被災地支援）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

「開発途上国の理解と支援及び国内被災地支援」を中心に、持続可能な社会の担い手の育成を本校のESD目標として、次の通り活動した。

【4月】

① 地域・通学清掃<資料 01>

【日時】4/5-

【場所】室蘭市内

【内容】地域の新生や市民に気持ち良く道路を利用してもらうことを目的に実施。有志生徒が参加。その後、年間を通じ、随時実施。

② 熊本地震緊急募金<資料 02>

【日時】4/20-4/28

【場所】本校

【内容】4月14日に発生した熊本地震の被災者支援を目的に、有志生徒が校内で募金活動を展開。これらは、カトリック中央協議会カリタスジャパンを通じて、被災地に送る。

③ 「世界の笑顔のために」プログラム参加

【日時】4/25-6/10、10/3-11/9

【場所】本校

【内容】JICA（独立行政法人国際協力機構）主催の同プログラムは、開発途上国で必要とされている、スポーツ、文化、教育、福祉などの関連物品を、派遣中のボランティアを通じ、世界各地へ届けるもので、本校は2012年5月より参加。今年度も全校生徒が回収に参加、メディア・市民の協力もあり、JICAを通じて多くの物資を開発途上国に送付。各国から礼状が届き、校内に掲示。

④ 「北海道新幹線と西胆振」特別講演会実施<資料 03>

【日時】4/26

【場所】本校

【内容】持続可能な地域社会の担い手としての資質を養うことを目的に、室蘭民報社記者 有田太一郎氏を講師としてお迎えし、全校対象の講演会を実施。生徒は西胆振の交通網の再編状況や経済振興の方策についての理解を深める。

【5月】

① 世界一大きな授業実施<資料 04>

【日時】5/6

【場所】本校

【内容】教育協力 NGO ネットワーク主催の同授業に全校生徒が参加。今年度の授業では、ブルキナファソ野球を応援する会代表 出合祐太氏を講師としてお迎えした。生徒は西アフリカの子どもの現状、スポーツ教育を通じた国際協力のあり方、JICAについて理解を深める。

② 留学生交流事業（台湾）実施<資料 05>

【日時】5/23

【場所】本校

【内容】北海道経済部観光局の協力。台湾高雄市の義大国際高級中學の生徒21名

と教員3名が来校。バディープログラム（1人の留学生に1人の生徒が終日担当）のもと、授業体験や各学年が作成した交流プランを実施。また、留学生による地域・学校紹介行われる。生徒は、異文化交流への理解を深める。

③ 東北ボランティア生徒講師派遣＜資料06＞

【日時】5/27、8/27

【場所】室蘭市内

【内容】2015年度に東北ボランティア生徒派遣事業で派遣された生徒6名が、活動を通じて交流した方々や、ボランティアを通して感じたことを、写真を交え発表。5月27日には室蘭市立室蘭西中学校で全校を対象に講演。8月27日には社会福祉法人北海道社会福祉協議会主催ボランティア愛ランド北海道2016inむろらんの第2分科会にて講演。

【6月】

① 留学生交流事業（アメリカ）実施＜資料07＞

【日時】6/8-13

【場所】本校

【内容】アメリカミネソタ州ミネアポリスにあるEdina高校の生徒6名、教員1名が来校、ホームステイ。バディープログラムのもと、各学年との交流会や放課後の部活動交流を実施。生徒は、異文化交流への理解を深める。

② 「ネパールの国と食文化を学ぶ会」実施＜資料08＞

【日時】6/14

【場所】本校

【内容】同国の国勢や風土、宗教について理解を深めることを目的に地域で活躍する同国出身のシェフ2名（セレシュタ・ディル・バツハー氏、シェフムケシュ・シャルマ氏）を招き、実施。ネパールの文化や経済、社会問題について理解を深めるとともに、ネパールの食文化を体験。インターナショナルクラブの生徒18名が参加。

③ 「ベネズエラの国と音楽」特別講演会実施＜資料09＞

【日時】6/22

【場所】本校

【内容】ベネズエラ大使館の協力。同国の概要と音楽教育プログラム「エル・システム」についての理解を深めることを目的に、駐日ベネズエラ大使夫人石川コロンえりか氏を講師としてお迎えし、実施。全校生徒が参加。生徒は、同国の国民性や文化について理解を深める。また、音楽教育プログラムについて学び、連帯・協同の重要性、平和について学び、持続可能社会の担い手としての意識を深める。

④ 世界食料デー登別大会「巡回講演」実施＜資料10＞

【日時】6/27

【場所】本校

【内容】世界食料デー登別大会実行委員会主催。世界の食料問題への啓発を目的とする同講演会に、全校生徒が参加。FAO(国連食糧農業機関)日本事務所所長Mbuli Charles Boliko氏より、FAOの活動紹介、世界各地の食料廃棄の実態について学ぶ。また、6月25日には、同氏の講演が組み込まれた同実行委員会主催ゴスペルライブコンサートに生徒8名が運営ボランティアとして参加。なお、7月に開催された学校祭においてFAOパネル展を開催。

【7月】

① フィリピン共和国への物品支援実施

【日時】7/5 - 7/8

【場所】本校

【内容】公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター主催高校生・アジアの架け橋養成事業において、本校生徒1名が選考の結果、全道の高校生10名に選出されたことを受け、当該生徒が中心となって、同国への支援物資の提供を全校生徒に呼びかける。文具や玩具が集まり、8月に派遣生徒を通じ、同国へ贈呈。

② 東北ボランティア生徒派遣事業実施

【日時】7/5-9

【場所】岩手県

【内容】東北への生徒ボランティア派遣（4泊5日）。代表生徒5名は、NPO法人カリタス釜石が運営するカリタス釜石ベースに滞在し、傾聴を主としたボランティア活動を行う。日本ユネスコ協会連盟の協力で、釜石ユネスコ協会への表敬訪問、室蘭商工会議所の協力で釜石商工会議所（山崎長也会頭）への表敬訪問を実現。これらの交流や体験を通じて、各地の復興の足取りや東北の現状について理解を深める。

③ 救急救命講習実施

【日時】7/13-15

【場所】本校

【内容】保健の授業の一環として、日本赤十字社救急指導員を招き、2年生を対象に同講習を実施。心配蘇生法やAEDについて学び、訓練を実施。

④ 「西アフリカ選抜野球選手との文化交流会」実施<資料11>

【日時】7/15

【場所】本校

【内容】「ブルキナファソ野球を応援する会」の協力。西アフリカ選抜野球選手12名と日本人スタッフ2名が来校。日本語、英語、仏語を使い希望生徒32名が交流。部活動を通じた日本文化紹介、互いの地域の調理実習を実施。生徒は、異文化交流への理解を深める。なお、7月18日に交流相手が参加したチャリティーイベント「西アフリカ選抜 VS 北海道日本ハムファイターズ OB レジェンズ」に運営ボランティアとして生徒が参加。

⑤ JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2015 海外研修参加

【日時】7/24-30

【場所】ベトナム社会主義共和国

【内容】同コンテスト受賞生徒が参加。JICA ハノイ事務所の様々な技術支援プロジェクトや青年海外協力隊の活動現場を視察し、日本のODAの現場を学んだ他、高校生の家庭でホームステイを体験。

⑥ 高校生・アジアの架け橋養成事業参加

【日時】7/31-8/7

【場所】フィリピン共和国

【内容】公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター主催の同事業に、本校生徒1名が全道の高校生代表10名に選出され、フィリピン共和国でのスタディツアーに参加。現地の子どもたちやNGOとの交流・視察を通して、同国の歴史と現状や国際協力についての理解を深める。

【8月】

① 「宮古市との交流促進検討ワークショップ」参加<資料 12>

【日時】8/1、9/29、10/31

【場所】室蘭市内

【内容】平成30年にフェリーで結ばれる宮古市との交流のあり方を探る室蘭市まちづくり協議会主催の同ワークショップに生徒4名が参加。宮古市と室蘭市の概要、歴史について学び、グルメ、イベント、スポーツなどの観点から交流事業を考え、地域への多角的な視点を培う。

② 世界食料デー登別大会「高校生スタディー・ツアー」参加

【日時】8/1-2

【場所】神奈川県

【内容】世界食料デー登別大会主催の同ツアーに、本校生徒2名が地域の同代表として参加。横浜の国連食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所を訪問。FAOをはじめ、国際熱帯木材機関（ITTO）、国連WFP、JICA横浜、国際NGOのスタッフの講義を受講。世界の食料・環境問題について理解を深める。

③ JICA 高校生国際協力プログラム2016参加

【日時】8/3、1/10-11

【場所】札幌市

【内容】JICA北海道主催の同プログラム夏の入門編に生徒6名が参加。生徒は同センターの探検や、青年海外協力隊の体験談（ウガンダ）、ワークショップから、JICA事業について理解を深める。また、1月に行われた冬のステップアップ編には、生徒7名が参加。青年海外協力隊員とのスカイプ交流、海外研修員との交流、ワークショップを通じて、開発や児童労働の問題について理解を深める。

④ 海岸清掃ボランティア実施

【日時】8/4

【場所】室蘭市内

【内容】2012年より、市内の海岸清掃を実施。生徒・教員20名がトッカリシヨなどの海岸のゴミ拾いを行い、ゴミ袋（40ℓ）92袋を集め、奉仕の精神を培い、環境への意識を高める。

⑤ 道南バス・海星学院東北支援プロジェクト実施<資料 13>

【日時】8/4-

【場所】室蘭市内

【内容】道南バス株式会社の協力。東北ボランティア生徒派遣事業で撮影した現地の様子をもとに、市民向けの啓発ポスターを作成。5作品を同社のバス70台の車内に掲示。

⑥ ケアハウスふれあい母恋主催夏祭りボランティア参加<資料 14>

【日時】8/11

【場所】室蘭市内

【内容】高齢者施設の地域行事にボランティアとして、本校生徒7名が参加。入居者との交流を通じ、奉仕の精神を培う。

⑦ アメリカ留学プログラム実施

【日時】8/23-1/31

【場所】アメリカ合衆国

【内容】姉妹校 Benilde-St. Margaret's School (BSM) に生徒1名が5ヶ月間の語学留学。全日程ホームステイで、同国の高校生活を体験。生徒はコミュニケーション能力・語学力を培い、同国の文化について理解を深める。

⑧ 「室蘭 PV グランプリ」参加<資料 15、16>

【日時】8/24、10/1

【場所】室蘭市内

【内容】室蘭市の魅力を 6 秒のプロモーションビデオにまとめる同市主催の同グランプリに、本校生徒 10 名が参加。市広報課職員の講義から、市の魅力や PR ポイント、その紹介の仕方について学び、市内の観光地や日常風景を動画にまとめる。10 月 1 日に行われた審査会では、生徒が最優秀賞を受賞。

【9 月】

① 東北ボランティア生徒派遣事業校内報告会実施

【日時】9/5、9/17、10/22

【場所】本校

【内容】同事業に参加した生徒による全校生徒対象の報告会。活動を通じて交流した方々や、ボランティアを通して感じたことを、写真を交え発表。この講演を機に校内募金活動を展開し、東北の NPO に送付。9 月、10 月に本校で実施された中学生向けの学校説明会でも中学生及び保護者を対象に報告会を実施。

② 留学生交流事業（デンマーク）実施<資料 17>

【日時】9/7

【場所】本校

【内容】登別デンマーク協会の協力。同会が招聘したセシリエ マットセン氏が来校。放課後の部活動交流及びデンマークの国土や教育制度、伝統文化についてのプレゼンテーションを実施。生徒 15 名は、異文化交流への理解を深める。

③ 留学生交流事業（ニュージーランド）実施<資料 18>

【日時】9/26-29

【場所】本校

【内容】同国交流校 St. Dominic's College 生徒 6 名、教員 1 名が来校、ホームステイ。バディープログラムのもと、各学年との交流会や放課後の部活動交流を実施。生徒は、異文化交流への理解を深める。

【10 月】

① アメリカ修学旅行実施

【日時】10/5-13

【場所】アメリカ合衆国

【内容】2 年生対象。同国ミネソタ州にある姉妹校 Benilde-St. Margaret's School、公立高校の Southwest High School, Kennedy High School や私立 Saint John's Preparatory School を訪問、バディープログラム実施。同国の様々な学校教育に触れ、同国高校生としての生活を体感。他に、聖ジョーンズ大学 (SJU) / 聖ベネディクト大学 (CSB) を訪問、モンデール元副大統領・駐日大使への表敬訪問、アメリカ最大級のショッピングモール見学を実施。宗教や異文化への理解を深める。全日程、ホームステイ。相互の文化的な違いを学び、国際感覚を養う。

② 国内修学旅行実施

【日時】10/11-14

【場所】広島・京都・大阪・奈良

【内容】2 年生対象。関西地方の世界遺産を巡り、日本の歴史・文化について理解を深める。とくに原爆被爆者の体験談や原爆ドーム・資料館の見学を通じて、平和への理解を深める。

③ 東北ボランティア生徒講師派遣<資料 19、20>

【日時】10/18、11/9、11/18

【場所】室蘭市・登別市

【内容】東北ボランティア生徒派遣事業の派遣生徒 5 名が、活動を通じて交流した方々や、ボランティアを通して感じたことを、写真を交え発表。10月18日には登別市立西陵中学校の全校道徳授業にて講演。11月9日には室蘭東ロータリークラブ11月例会にて講演。11月18日には室蘭市立翔陽中学校の全校道徳授業にて講演。

④ 2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト参加<資料 21>

【日時】10/20-3/16

【場所】本校

【内容】ジャパンアートマイル主催の同プロジェクトに2年生全員が総合的な学習の一環として参加。ウガンダ共和国 Iganga Secondary School と壁画（縦 1.5m×横 3.3m）を共同で制作し、展示を通して世界の調和と平和を訴える。スカイプや電子掲示板を駆使した交流で絵画のテーマやデザインを決定。生徒が壁画の半分の作成を担当した。

⑤ 世界食料デー登別大会「プレ大会」ボランティア参加

【日時】10/28-30

【場所】登別市

【内容】同実行委員会主催。大型スーパーで開催された同大会に、ボランティアとして生徒 5 名が参加。エチオピアの食糧問題に苦しむ子どもたちが描いた絵画の他、国際連合食糧農業機関（FAO）のパネルを展示。来場者の案内・パンフレット配布を通じて、世界の食料問題への募金協力を呼びかける。

【11月】

① 「夢を拓く女子中高生のためのキャリアサポート」参加<資料 22>

【日時】11/1

【場所】本校

【内容】国際ソロプチミスト室蘭主催の同事業に生徒 15 名が参加。女性の社会的自立について、同会員の方々9名とグループディスカッション。社会で活躍する女性の体験談を通じて、社会貢献、進路、交友関係の大切さについての理解を深める。

② 世界寺子屋運動参加<資料 23、24>

【日時】11/2-2/28

【場所】本校、室蘭市内

【内容】公益社団法人日本ユネスコ協会連盟主催。2011年からの継続事業。支援対象国カンボジアの歴史・世界遺産・現状について学び、希望者が協力を呼びかけるリーフレット作成を開始。11月11日にリーフレットが完成し、校内外で書き損じはがき・未使用はがきの回収活動を開始。また、代表2作品をリーフレットコンテストに応募。さらに、室蘭ユネスコ協会にリーフレットを寄贈。同協会がこれらを室蘭市内の各教育機関に配布した他、道南バス株式会社、室蘭市、室蘭市社会福祉協議会、登別市社会福祉協議会、本校関係団体がリーフレットの配布や掲示に協力。運動に協力して下さった市民には礼状を送付。6年目になるが、協力団体が増加するなど、運動に広がりが出た。3月下旬に室蘭ユネスコ協会への贈呈式を予定。

③ カナダ・アメリカ語学研修実施

【日時】 11/13-12/13

【場所】 カナダ・アメリカ合衆国

【内容】 語学力向上と異文化理解を目的に実施。生徒 2 名が参加。3 週間、Kaplan 語学学校（バンクーバー）で、世界各国から集まった学友と生活。その後、米国でホームステイをしながら、姉妹校私立 Benilde-St. Margaret's School や公立 Southwest High School・Edina High School、St. John's 大学付属高校、ウィスコンシン州の小学校（St. Ann School）を訪問。生徒は同国の教育システムについて理解を深め、グローバルな視野・コミュニケーション能力を培う。

④ ユネスコ・ユースフォーラム in 室蘭参加<資料 25>

【日時】 11/13

【場所】 室蘭市内

【内容】 室蘭ユネスコ協会・ユネスコスクール連携事業。代表生徒 8 名が参加。世界寺子屋運動の一環として、募金活動を展開した他、東北ボランティア派遣事業に参加した生徒が「東北ボランティア報告」の発表を行う。北海道登別明日中等教育学校（ユネスコスクール認定校）や北海道大谷室蘭高等学校、清泉幼稚園（ユネスコスクール認定園）と連携。

⑤ アジアの架け橋養成事業報告会実施<資料 26>

【日時】 11/15

【場所】 本校

【内容】 公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター主催の同事業でフィリピンに派遣された道内の高校生 5 名（うち本校生徒 1 名）による報告会を、全校生徒を対象に実施。同国の風土や文化、教育・貧困の問題についての報告や支援物資贈呈の報告を通じ、開発途上国についての理解を深める。

⑥ 「世界食料デーキャンペーンおにぎりアクション」参加<資料 27>

【日時】 11/16

【場所】 本校

【内容】 TABLE FOR TWO 主催同キャンペーンに生徒 8 名と教員 1 名が参加。世界の食糧問題について学習し、アフリカの給食活動を支援。生徒は多様な国際協力のあり方を学ぶ。参加生徒らは、同キャンペーンの「おにぎりフォトグランプリ 2016」において、「エピソード大賞」を受賞。

⑦ 世界食料デー登別大会「本大会」ボランティア参加<資料 28>

【日時】 11/27

【場所】 登別市富士町

【内容】 同実行委員会主催。世界の貧困・食料問題に関する啓発活動を目的とした同大会が登別市民会館で開催され、ボランティアとして本校生徒 7 名が参加。近隣の高校の生徒とともに、受付や会場や舞台の準備、募金活動を行う。また、国際協力 NGO 声なき者の友の輪インターナショナル柳沢美登里氏の講演から、開発途上国への理解を深める。参加生徒のうち、2 名は 8 月に参加した「高校生スタディー・ツアー」について発表。11 月 28 日にも、同実行委員会の催しにて、登別市の教育実践者を対象に「高校生スタディー・ツアー」の発表を行う。

【12月】

① 「生命に関する講話-生命誕生は尊い奇跡-」 特別講演会実施

【日時】 12/14、2/28

【場所】 本校

【内容】 室蘭市健康推進課の協力。助産師を講師としてお迎えし、同講演会を実施。生徒は、望まない妊娠や妊娠中絶・性感染症について学び、人間関係の構築・性に対する正しい知識の重要性について理解を深める。

② 東北支援クッキープロジェクト実施

【日時】 12/16-17

【場所】 本校

【内容】 東北ボランティア生徒派遣事業で縁の深い岩手県釜石市へ、クリスマスプレゼントとしてクッキー1、400枚（350人分）を有志生徒40名が作製。NPO法人カリタス釜石を通じ、釜石の方々へ贈る。

③ JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2016 国内機関長賞受賞

【日時】 12/28

【場所】 本校

【内容】 同コンテスト高校生の部で本校生徒が独立行政法人国際協力機構 北海道国際センター 所長賞を受賞。

【1月】

① 雪かきボランティア参加<資料 29>

【日時】 1/10-3/31

【場所】 室蘭市内

【内容】 室蘭市社会福祉協議会主催の同ボランティアに生徒67名が登録。2011年からの継続事業。高齢者などの雪かき困難者宅14軒を担当。雪かき困難者からの要請を受けて、雪かきを実施。

② 特別避難訓練実施<資料 30>

【日時】 1/17

【場所】 室蘭市内

【内容】 併設のベネディクト幼稚園、高砂中央町との合同訓練のため、多様な年齢層が参加。雪道を高齢者・園児とともに避難。生徒は災害時のシミュレーションを行い、防災意識を高める。

③ フィリピンへの物品支援実施

【日時】 1/20

【場所】 本校

【内容】 生徒会が中心となって、卒業する3年生の使っていた運動靴を対象に収集活動を展開。運動靴15足を、市民団体OTARUワールドフレンズ（小樽市）を通じて、同国の教育施設（NGO ミンダナオ子ども図書館）に贈呈。

④ 留学生交流事業（メキシコ）実施<資料 31、32>

【日時】 1/23-25

【場所】 登別市・室蘭市・白老町

【内容】 ジャパンアートマイルの協力。国際交流基金メキシコ日本文化センターと日本政府観光局主催の訪日教育旅行プログラムの一環として、メキシコ合衆国ベラクルス州立大学付属ハラパ校高校生11名と教員2名が来校。生徒による登別温泉観光案内（英語・スペイン語）、パディープログラムに基づく授業体験、部活動による日本文化紹介、メキシコ料理調理実習、ホームステイ、生徒による白老

観光案内（ワカサギ釣り・アイヌ民族博物館踊見学）を実施。生徒は、異文化交流への理解を深める。

⑤ ESD 日本ユース・プラットフォーム会合 教員参加

【日時】1/28

【場所】東京都

【内容】公益財団法人五井平和財団 ESD 日本ユース・コンファレンス事務局による同会合に本校 ESD 担当 市川栄作教諭が ESD 実践者として参加。第1～3回 ESD 日本ユース・コンファレンス参加者と交流、意見交換、情報共有。

⑥ 木づかい運動 in 北海道教材作成プログラム実施

【日時】1/30-2/20

【場所】本校・室蘭市

【内容】ESD 日本ユース・プラットフォーム会合を契機とする。奈良市立平城小学校（ユネスコスクール認定校）新宮済教諭との連携プログラム。同校の ESD 実践の環境教育教材を本校生徒が作成。生徒は近隣で製作されるストーブ用ペレットに着目し、市内のペレットストーブを調査。これをもとに小学生対象の教材を作成。生徒は環境教育・教材開発について理解を深める。

【2月】

① 「ネパール寺子屋教員派遣報告会」実施<資料 33>

【日時】10/28

【場所】本校

【内容】公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の協力で、同連盟主催世界寺子屋運動の教育施設を本校 ESD 担当 市川栄作教諭が視察。全校対象に視察報告会を開催。多民族・多宗教を特徴とする同国の概要や、同施設が識字教育ばかりでなく、女性支援・ネパール地震からの復興支援などの多様なアプローチを実施していることについて紹介。生徒は開発途上国の現状と世界寺子屋運動について理解を深める。

② 小学校英語活動（外国語活動）協力ボランティア実施<資料 34>

【日時】7/8、22

【場所】室蘭市

【内容】室蘭市立海陽小学校との連携事業である同ボランティアに、生徒 39 名が参加。小学 4 年生を対象に、カードを用いた英会話のロールプレイを実施。生徒は、教育実践者の立場から英語を使用し、国際理解教育について理解を深める。

【3月】

① 「室蘭発 東北へのエール」展示会・3.11 講演会開催<資料 35、36、37>

【日時】3/7-18

【場所】室蘭市

【内容】室蘭市市民活動センターにて、東日本大震災より現在までの本校の支援活動と現地の復興状況を振り返る生徒作成のポスター約 30 枚を展示。3.11 には東北ボランティア派遣事業参加生徒が市民を対象に講演会を開催。生徒は東北での学びや気づきを報告するとともに、東北へエールを送り続ける意義を訴え、地震発生時刻に市民とともに黙祷を捧げる。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）